

教科の目標

表現及び鑑賞の活動を通して、つくりだす喜びを味わうようにするとともに造形的な創作活動の基礎的な能力を育て、豊かな情操を養う。

評価の観点

- ・自分の思いを表す体験を深めることに興味をもつことやつくったものなどに興味をもって見るなど、進んで造形活動を楽しみ、その喜びを味わおうとする。
- ・見たことや感じたことなどをもとに想像力を働かせ、豊かな発想をしたり、つくりたいものの美しさや用途を考えるなど構想したりする。
- ・手を十分に働かせたり、体全体の感覚を生かしたりしながら、つくりだす能力などを働かせて、自分なりの技能や表し方を工夫する。
- ・自分たちの作品や身近にある作品のよさや美しさ、感じの違いなどに興味をもって見る。

評価の方法

【作品 制作中の様子 準備物 用具の使い方 作品鑑賞の様子】

学期ごとの学習内容と学習のポイント

	学習のすること	学習のポイント
前期	材料物語	・身近な利用の形や色を生かして、思いうかんだ物を作る。
	キラキラ光る絵	・光る紙などを使って、想像したことや、かいてみたいことを表す。
	絵の具のふしぎ	・色と色を混ぜたり、重ねたりしてできた模様から想像して絵に描く。
	ひもで作ろう	・粘土のひもをのばしたり、まいたり、つけたりして色々な形を作る。
	コロコロ コロガラート	・用具を上手に使いながら、ビー玉やボールの転がる楽しい迷路やゲームを作る。
	忘れられない日	・心に深く残っている思い出などを絵に描く。
後期	お話の世界	・お話を粘土で作ったり絵で描いたりする。
	ワンダーランドへようこそ	・身近な場所に夢の広がる扉をつくり、想像を広げる。
	布から生まれた	・形や色、大きさのちがう布をいろいろあつめて、物をつめたり、組み合わせたりして楽しい物を作る。
	ゆめを広げて	・身近にあるものから想像を広げて、絵に表す。
	ハッピーカード	・飛び出す仕組みを使って、開くと飛び出すカードを作る。
	木から生まれた世界	・感じたことや想像した事を木版で工夫しながら表す。 ・彫刻刀の基本的な扱いを知り、安全に作業を進める。
	へん身 パツ	・変身したいものを想像し、身近な材料を使って変身する。